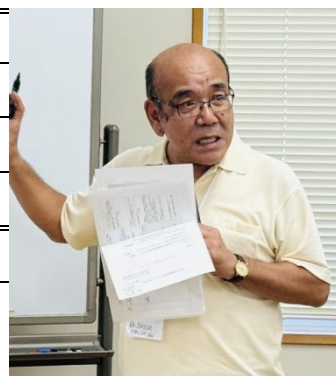


地域活性化伝道師プロフィール

分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	○	農・林・水産業	
	地域医療、福祉・介護、教育		観光・交流	◎
	地域コミュニティ・集落再生		環境	
	地域交通・情報通信		まちづくり	◎
ふりがな		おおしも しげる		
氏名		大下 茂		
所属	名称	株式会社 KITABA		
	役職	相談役		
連絡	住所 (職場)	〒275-0013 千葉県習志野市花咲 2 丁目 17 番 12 号		
	連絡先	e-mail	shig-osm[アットマーク]blue.ocn.ne.jp	
		TEL 047-477-9033(自宅)	FAX 047-477-9033(自宅)	
	連絡方法	E-Mailでお願いします		
略歴		<p>・1982 年 3 月 長岡技術科学大学大学院修士課程修了 (2000 年 12 月 東京工業大学大学院博士課程修了)</p> <p>・1982 年清水建設入社、1990 年(株)プランニングネットワーク設立・代表取締役就任。 まちづくりマネジメントプロデューサーとして、「集客」による地域づくりに携わる。</p> <p>・2001 年度より、東京工業大学工学部、立教大学観光学部 兼任講師(兼職)</p> <p>・2012 年 4 月～2024 年 3 月(帝京大学経済学部観光経営学科)、 (2013 年 4 月～2018 年 3 月末/2021 年 4 月～2024 年 3 月学科長)</p> <p>・2024 年 4 月より(株)KITABA 相談役に専任 観光まちづくり等の地域づくりに関する講座・講演、観光まちづくりに関する審議会。委員会などの委員長・座長・コーディネート業務に携わる。</p> <p>【資格】 技術士:建設部門(都市及び地方計画) 博士(工学)/東京工業大学『集客型地域づくり手法の体系化に関する研究』</p>		
著作・論文等		<p>【単著】『行ってみたい！と思わせる「集客まちづくり」の技術』／学陽書房</p> <p>【共著】『観光経営学』(朝倉書店)／『志民協働による景観と観光をつくる戦略と手法』(共同文化社)／『三宅島観光白書・三宅島学』(ミライカナイ)／『ファシリテーションの手引き書(共同文化社)』 他</p> <p>【投稿】都市計画(日本都市計画学会)／都市計画ぐんま／千葉県まちづくり公社等 ※参考 http://www.labo-salvage.com/ShigeLab.html</p>		



※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

取組概要	<p>『集客』を研究テーマとして、観光計画、地域活性化計画、中心市街地活性化計画など、地域づくり、まちづくりの分野において、『論と行動』をテーマに実践的な取り組み展開を図っている。地域に軸足を置いて、地域の方々と一緒に「地域を元気にするための方法」を実践する地域密着型の活動形態のため、活動エリアは首都圏近郊に限られている。</p> <p>主な実績は、東京都品川区観光アクションプラン、大田区観光振興プランに関わるとともに、両区の広域観光まちづくり事業スーパーバイザーを平成 20～22 年度より努める（現在はアドバイザー）。また、平成 24 年度より両国地区観光まちづくりグランドデザイン等の委員長を努める他、東京都観光部や特別区協議会の講座・シンポジウム等に関わっている。千葉県内では、佐原、木更津、いすみ、久留里、市川、中山、御宿、浦安、四街道、習志野、勝浦、長生村、九十九里、多古町等、群馬県では、みどり市大間々、甘楽町、伊勢崎市境島村、下仁田町、みなかみ町、渋川市伊香保温泉の観光まちづくりに関わっている。</p>
メッセージ	<p>「地域の記憶」をもっていない地域はありません。気づいていないだけです。地域の個性は、この「地域の記憶」を紐解き、現代的な価値を重ね合わせることから生れます。集客・観光とは無縁と思われた地域においても、決して諦める必要はありません。全国的に人口増が期待できない時代では、過疎地域は、時代の先端を行く地域ではないでしょうか。</p> <p>地域の中での『気づき』からはじめ、『地域ぐるみ』での展開へ段階的に地域の活力を高めていくことが大切。その極意は、「お互いの活動を認め合うこと」と「感謝の気持ちをもつこと」にあります。人の心に寄り添える地域づくりは、行動する中に必ずヒントがあるはずです。</p>
関連ホームページ	http://www.labo-salvage.com/ShigeLab.html
活動エリア	首都圏、北海道圏

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。